

こさい

# 議会だより

No.189

9月定例会

令和元年10月31日発行

「議会だより」は、あなたと議会を結ぶ情報誌です。

- 2 保育の質を確保するための条例を可決
- 4 平成30年度各会計決算を認定
- 8 そここが聞きたい!!一般質問
- 13 議会って何するところ?

平成30年度各会計決算を認定

保育の質を確保する

ための条例を可決

議案第55号

保育の質を確保するため、認可外保育施設を幼児教育無償化の対象外とする条例を制定

「湖西市子ども・子育て支援法の一部を改正する法律附則第4条第2項の規定に基づく施設等利用費の支給の対象となる認可外保育施設の範囲の限定に関する条例制定について」を全員賛成により可決した。

この条例は、10月からの幼児教育無償化に伴い、県へ児童福祉法に基づく届出がされている認可外保育施設は、5年間は国の基準を満たさない場合でも無償化の対象となることを、国の基準を満たす施設に限定し、施設を利用する

児童への保育の質の確保と安全・安心に対し一定の基準を設けるものである。

◆本会議での質疑◆

問

市民に質の高い保育を提  
供する意向だが、今後増え  
ると見込まれる保育需要に  
対応できるのか。

答

この条例を定めた場合、基準を満たしていない認可外保育施設を利用する子どもが多くいる自治体においては、影響は大きいと考えられるが、本市にある4つの認可外保育施設は国の基準を満たしており、今回の条例化による影響はない。

◆議会の概要

〔9月2日〕9月定例会が招集され、開議に先立ち、平成30年度湖西市財政指標について報告を受けた。開議後、会期を10月2日までの31日間と決め、市長提出25議案について説明を受けた。そのうち平成30年度一般会計決算については、決算特別委員会に付託した。  
〔9月9日、10日、11日〕各日5人の議員が一般質問を行った。  
〔9月17日〕議案に対する質疑を行い、条例の一部改正・補正予算など16議案を原案のとおり

可決し、条例の制定及び平成30年度各会計決算の計7議案を各常任委員会に付託した。  
〔10月2日〕常任委員会・特別委員会に付託した、条例の制定及び平成30年度各会計決算の委員長報告を行い、関連議案を含め計9議案を可決・認定した。その後、議会運営委員会から追加提出された1議案及び総務経済委員会から追加提出された意見書1議案を可決し、9月定例会を終了した。

◆議案一覧◆

議案番号	内容
55	湖西市子ども・子育て支援法の一部を改正する法律附則第4条第2項の規定に基づく施設等利用費の支給の対象となる認可外保育施設の範囲の限定に関する条例制定について
56	湖西市立認定子ども園条例制定について
57	湖西市立学校設置条例の一部を改正する条例制定について
58	子ども・子育て支援法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例制定について
59	湖西市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例制定について
60	湖西市印鑑条例の一部を改正する条例制定について
61	湖西市手数料徴収条例の一部を改正する条例制定について
62	新居関所史料館条例及び新居宿旅籠紀伊国屋資料館条例の一部を改正する条例制定について
63	湖西市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
64	湖西市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について



待機児童対策については、現在策定中の第二期子ども・子育て支援事業計画に基づいて進めていくが、新居幼稚園及び岡崎幼稚園のこども園化と新設の真愛三ツ谷こども園により、当面は対応できると考える。  
また、新たな民間施設の創設があれば随時受け付けを行い、保育の受け皿確保に努めていく。

**新居関所史料館・新居宿旅籠紀伊国屋資料館の入館料改正を可決**

「新居関所史料館条例及び新居宿旅籠紀伊国屋資料館条例の一部を改正する条例制定について」を全員賛成により可決した。

この条例は、新居関所史料館の入館料について、市の統一的な基準で見直すとともに、共通入館料と年間パスポート料を追加するなどの改正である。

◆ 本会議での質疑 ◆

**問** 年間パスポート料1千円の算出根拠や形は。

**答** 共通入館券1回分が500円であり、夏と冬の企画展の2回以上に来館していただくことを想定した。名刺サイズで、氏名・顔写真、裏面には関所の写真を印刷し、加工する予定である。

**一般会計補正予算を可決**

「令和元年度湖西市一般会計補正予算(第3号)」を全員賛成により可決した。

今回の補正により、予算額は1億1,059万5千円増額され、総額214億1,786万3千円となった。

**補正(第3号)の主な内容**

【歳出】

● 道路維持費

鷲津駅前広場シェルター設置に係る工事請負費及び旅費を計上。 **3,114万5千円**



◆ 本会議での質疑 ◆

**問** 工事の概要は。

**答** 鷲津駅前広場のロータリーに設置されているシェルターと駅舎の入口を結ぶ通路に屋根を設置するもので、年度内の設置完了を予定している。



▲現在の鷲津駅前広場シェルターの様子

81	80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65
令和元年度湖西市一般会計補正予算(第3号)	令和元年度湖西市一般会計補正予算(第3号)	令和元年度湖西市一般会計補正予算(第3号)	令和元年度湖西市一般会計補正予算(第3号)	令和元年度湖西市一般会計補正予算(第3号)	令和元年度湖西市一般会計補正予算(第3号)	令和元年度湖西市一般会計補正予算(第3号)	令和元年度湖西市一般会計補正予算(第3号)	令和元年度湖西市一般会計補正予算(第3号)	令和元年度湖西市一般会計補正予算(第3号)	令和元年度湖西市一般会計補正予算(第3号)	令和元年度湖西市一般会計補正予算(第3号)	令和元年度湖西市一般会計補正予算(第3号)	令和元年度湖西市一般会計補正予算(第3号)	令和元年度湖西市一般会計補正予算(第3号)	令和元年度湖西市一般会計補正予算(第3号)	令和元年度湖西市一般会計補正予算(第3号)

審議結果については、全議案を原案可決(決算の「認定」を含む)した。賛否が分かれた議案についてはP7を参照。

## 平成30年度各会計決算を認定

平成30年度一般会計決算・特別会計・企業会計の決算審査を行い、認定した。なお、一般会計決算審査については、決算特別委員会を設置・付託し、2日間にわたり審査を行った。

委員長 ● 二橋益良

副委員長 ● 中村博行

委員 ●

柴田一雄 加藤治司  
滝本幸夫 三上元  
菅沼淳 土屋和幸  
高柳達弥 楠浩幸  
佐原佳美 吉田建二  
竹内祐子 荻野利明  
馬場衛

また、国民健康保険・後期高齢者医療事業決算については総務経済委員会に、介護保険・病院事業決算については福祉教育委員会に、公共下水道・水道事業決算については建設環境委員会に付託し、審査を行った。

平成30年度各会計決算

(単位：円)

会計区分	決算額			
	歳入	歳出		
一般会計	21,554,398,514	19,961,576,177		
特別会計	国民健康保険事業	6,066,248,483		
	介護保険事業	4,027,706,628		
	後期高齢者医療事業	666,030,884		
企業会計	公共下水道事業	収益的收入 1,354,179,332	収益的支出 1,332,298,719	
		資本的收入 489,761,586	資本的支出 841,217,143	
	水道事業	収益的收入 1,237,347,499	収益的支出 1,043,184,110	
		資本的收入 17,601,816	資本的支出 384,746,015	
		病院事業	収益的收入 3,425,862,847	収益的支出 3,317,909,980
			資本的收入 263,995,000	資本的支出 430,525,521



▲ふるさと納税のチラシ

問

ふるさと納税の大幅な減少に対する方策は。

答

現在、総務省が示している基準を遵守しながら寄附金を確保するためには、寄附者に湖西市を選択してもらう工夫が必要である。他市町村の返礼品と差別化するため、質の高い返礼品をつくりあげていくよう事業者と協議しながら進めている。

歳入

決算特別  
委員会の  
審査

## 歳出

問

デマンド型乗合タクシーの利用実績をどのように捉えているか。

答

平成30年3月から白須賀地区で実証実験を開始し、当初は一月当たり64名であったが、令和元年8月には202名に増加した。コーちゃんバスの利用者数も実証実験開始前の半年間では約1万1、500人であったが、翌年の同時期には約2千人増加したため、市民の公共交通ニーズの掘り起こしができたと認識している。



▲デマンド型乗合タクシー

問

移住・定住促進事業の成果は。移住フェア参加の手応えはあったのか。

答

現時点で成果として表すことは難しいが、移住フェアで多くの来場者の声を聞けたことが大きな成果であった。湖西市での雇用、買い物や子育てなどの相談、補助制度への質問などしてもらい、湖西市への関心を持ってもらうという点で、大きな手応えを感じている。

問

訪問看護事業の医療保険での利用者増加の要因と利用回数が多い人の内容は。

答

要因としては、医療度の高い人のニーズが増加していることや精神疾患の利用者数が増加していること、また、難病医療費助成制度の変更により、訪問看護を利用しやすくなっている状況があげられる。

問

最近公表された県民「お達者度」で男性は1位と大幅に改善されているが、健康づくり事業の効果・要因は。

答

市が実施する健康マイレージ事業の参加者のうち、65歳以上の高齢者が約7割以上を占めており、健康に対する意識が高い人が多い。また、各部署において、高齢者の生きがい対策を推進するなど、さまざまな事業を展開していることが要因となり、「お達者度」が上位になったのではないかと推測している。

問

女性活躍推進事業において、再就職できた人の内訳と事業所の反応は。

答

セミナー参加者のうち、20代が1名、30代が5名、40代が2名、50代以上が1名の合計9名の再就職を確認している。この事業では、企業面接会も開催し、マッチングが成立した事業所からは、「就職意欲の高い人材と接触できるので、さらに回数を増やして欲しい」という要望や、「就職のきっかけとして有効である」との評価をいただいている。



**問** ため池ハザードマップの内容は、活用及び対象者への周知方法は。

**答** 局所的豪雨などの自然災害により、ため池が決壊した場合の浸水域や浸水の深さ、到達時間などの情報を地図化したものである。災害時の避難行動に役立て、地域の防災訓練などで活用してもらうことを想定している。完成したマップは、各ため池の氾濫想定区域の自治会を經由して住民に周知を行ったほか、市ウェブサイトや各地区の公会堂などで閲覧できるように公表している。

**問** 地域防災指導員の活動実績と成果は。

**答** 全体講習会、視察研修などの会議や研修会を142回、各自主防災会や幼・小・中学校などへの出前講座や防

災指導を58回実施した。出前講座などでの指導・啓発により、地域における防災力の底上げに大きく寄与していると考ええる。また、避難所運営連絡会において、構成メンバーやアドバイザーとして参加してもらい、避難所運営マニュアルの作成に大変貢献していただいている。

**問** みなと運動公園では、台風被害により一部施設で使用不能となったが、利用者への影響は。

**答** 平成29年度に比べ利用者数が減少しており、台風被害も含め雨による影響があったものと考ええる。昨年9月末の台風では、防球ネット支柱が倒壊する恐れがあり、多目的東広場のグラウンド1面を使用中止としたことで、利用者には別のグラウンドに振り替えてもらうなどの対応をお願いした。

**問** 特別支援教育推進事業の成果と課題は。支援員不足というところで工夫した点は。

**答** 休み時間にも児童生徒のそばに寄り添った支援により、学級全体が落ち着いて生活できていることが一番の成果といえる。課題は、支援員が不足していることである。通常学級において支援を必要とする児童生徒数は年々増加しており、個に応じた適切な支援が難しくなっている。4月からは、スクーリングソーシャルワーカーが生徒指導部会などの会議に参加するなど、子どもを取り巻く環境に効果的に働きかけていく取り組みを始めている。



議案第75号  
**介護保険事業特別会計  
歳入歳出決算を認定**

平成30年度湖西市介護保険事業特別会計歳入歳出決算を全員賛成により認定した。

**◆委員会での質疑◆**

**問** 特別徴収保険料が前年度と比べて大きく増加している要因は。

**答** 平成30年度より第7期介護保険事業計画がスタートし、その際に介護保険料の基準額が月額4,600円から5千円に、年額5万5,200円から6万円に増額となったこと。また、介護保険料本算定時の特別徴収対象者が平成29年度1万4,912人に対し、平成30年度1万5,246人と前年度比334人の増加となったことなどである。

# 意見書を可決

議案第81号 議会提出

## 「地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の延長に関する意見書を可決

(要約)

東海地震及び東南海地震に備えて、地震防災対策強化地域である本市は、静岡県が作成した地震対策緊急整備事業計画に基づき、各般にわたる地震対策を鋭意講じているところである。

しかし、今後実施すべき事業が数多く残されているにもかかわらず、この計画は令和元年度末で期限切れを迎える。よって国において、「地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」を延長するように強く要望する。

※あて先…衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣(防災)、消防庁長官、林野庁長官、水産庁長官

## 賛否が分かれた議案一覧表



議案番号・議案名	結果	柴田一雄	加藤治司	滝本幸夫	三上元	福永桂子	菅沼淳	土屋和幸	高柳達弥	楠浩幸	佐原佳美	吉田建二	加藤弘己	竹内祐子	荻野利明	馬場衛	中村博行	神谷里枝	二橋益良
<b>議案第73号</b> 平成30年度湖西市一般会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—	○	●	○	○	○	○
<b>議案第74号</b> 平成30年度湖西市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—	○	●	○	○	○	○

※「○」は賛成、「●」は反対、「欠」は欠席。 ※議長(加藤弘己)は採決に加わらない。

そこが聞きたい!!

# 一般質問



一般質問は、議案と関係なく市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただし、あるいは報告・説明を求めるもので、定例会に限って行われます。

今9月定例会では、15人の議員が一般質問を行いました。

湖西市議会公式サイト

ウェブサイトで本会議の映像を見ることができます。

<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/gikai/index.html>



湖西市議会

本会議インターネット放送

本会議の放送はこちらから(YouTubeへ)

## 「日本語教育の推進に関する法律」の推進は

▶▶▶日本語教育の重要性を重く受け止め、市と企業の責務を果たせるよう双方協力して推進する

●次期多文化共生推進プラン策定に向けて



楠 浩幸

問

「日本語教育の推進に関する法律」を、市はどのように推進するのか。

答

今後外国籍の住民の増加が予想されることから、日本語教育の重要性を重く受け止め、「日本語教育の推進に関する法律」の着実な履行と、企業へ「雇用者等への学習機会の提供と支援」について要請を行い、それぞれの責務を果たせるよう双方協力して推進していく。

問

湖西国際交流協会の役割と位置付けについてどのように認識し、連携を考えているのか。

答

湖西国際交流協会は、多文化共生社会の実現に寄与する事業を実施している市の多文化共生推進における大切なパートナーであり、今後も事業推進に関して綿密な連携のもと相互に協力していきたい。



土屋 和幸

## 成年後見制度の周知や手続きの支援方法は

▶▶▶市民対象の講演会や、民生児童委員への情報提供、広報紙、ウェブサイトで周知する

●成年後見制度について

問

成年後見制度の周知や手続きの支援など、今後どのように進めていくのか。

答

市民対象の講演会を毎年開催していく。今後は、民生児童委員への情報提供や、広報紙、ウェブサイトで周知を強化する。

問

湖西市で成年後見制度を必要とする人は、現在推定何人くらいいるのか。

答

判断能力の程度、家族の状況、生活環境などにより判断されることから、正確に把握することは難しいが、平成24年の認知症患者数は、65歳以上の高齢者の7人に1人であり、市の平成31年3月末現在の65歳以上の人口16,230人で試算すると、約2,300人になると思われる。



▲成年後見制度講演会のチラシ





二橋 益良

## 「広バル」はどのような展開を図っていくのか

▶▶▶ 地元商店をはじめとした地域の主導により、にぎわいを創出することが理想形である

### ● 新所原SG広場Bar(広バル)実施について

**問** 今後はどのような展開を図っていくのか。

**答** 今回開催した「広バル」では、肯定的な意見が多く、にぎわい創出の契機になった。さらなる新所原駅周辺の活性化を進めていく中で、最終的には市のサポートが無くとも地元商店をはじめとした地域主導のにぎわいを創出することが理想形と考える。今後、職住近接推進会議にて、市の関わり方、条件付き営利活動が可能なエリアの活用などについて検討していきたい。

**問** 新所原駅周辺の活性化のための開催は、どのような経緯であったのか。

**答** 整備された新所原駅の効果を活かしたにぎわいづくりの必要性を感じ、平成30年度から担当部署を中心に庁内組織を立ち上げ、今年度、運営方式などについて湖西市商工会など関係団体と意見交換を重ね、実証実験という形での開催に至った。

その他の質問

● 包括施設管理業務委託料について



▲「広バル」のポスター

## 都市計画道路の整備計画と進捗状況は

▶▶▶ 平成30年度末現在、59.65kmのうち40.77km、68.3%が整備済となっている

### ● 道路の整備及び橋梁の補修事業促進と今後の計画について

**問** 都市計画道路及び一般市道の整備計画と進捗状況について伺う。

**答** 平成30年度末現在で、都市計画道路は、29路線、59.65kmが都市計画決定され、68.3%の40.77kmが整備済である。現在、大倉戸茶屋松線と鷺津駅谷上線が整備中である。

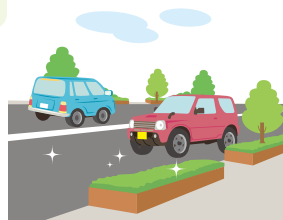
一般市道は、新所原笠子線の約370mを整備する計画で、事業費ベースでの進捗率は約6%である。

**問** 社会経済状況に対応した道路整備、橋梁の補修計画の見直しが必要と考えるが、市の考えを伺う。

**答** 厳しい財政状況の中、緊急性、経済効果を加味しながら、安全・安心を第一に、効果的・効率的な事業を実施していく必要があり、社会経済状況の変化により見直しを行いながら進めていく。



高柳 達弥



柴田 一雄

## 産婦人科医院の誘致について、新たな取り組みは

▶▶▶ 普通分娩ができる助産所の開設なども視野に入れた方策を考えていきたい

### ● 市内の分娩環境の整備と産前産後ケアの取り組みについて

**問** 産婦人科医院の誘致について、今後の新たな取り組みなど具体的な方策はあるのか。

**答** 現在の補助金制度に加え、他の機関とも連携して、普通分娩ができる助産所の開設なども視野に入れた方策を考えていきたい。

**問** 今年度から産婦健康診査・産後ケア事業を実施しているが、医療機関との連携状況や広報活動について伺う。

**答** 産婦の育児不安が強い場合などには、医療機関から連絡票が届くこととなっており、入院中に病院へ出向いて退院の調整を行い、退院直後には家庭訪問を実施し、育児状況の確認や助言を行っている。産婦健康診査については、母子手帳交付時に個別で説明し、産後ケア事業については、利用条件など、詳細確認が必要なため、ウェブサイト、医療機関で周知している。





菅沼 淳

## 不漁の要因と漁業関係者を取り巻く現状は

▶▶▶ 自然環境の変化など不漁の要因はさまざまであり、資源と人材確保の両面で厳しい状況にある

● 浜名湖を資源とする湖西市の漁業と浜名湖に放流する下水処理水について

**問** 不漁の続く湖西市の漁業について、要因と漁業関係者を取り巻く現状をどのように捉えているか。

**答** アサリの不漁は深刻で、自然環境の変化や植物性プランクトンの減少、クロダイによる食害など要因はさまざまである。漁業従事者については、高齢化、後継者不足により減少しており、資源と人材確保の両面で非常に厳しい状況にある。

**問** 浜名湖に放流される下水処理水の水質基準とはどのような基準か。

**答** 静岡県が策定する浜名湖流域別下水道整備総合計画に放流水の基準値が設定されている。市は、さらに上乗せした自主基準値を設定し、放流水の水質管理を行っており、海洋への放流と比べ厳しくしている。



## 市民課などがモデルとなり、5S活動を行ってはどうか

▶▶▶ 総務課が率先して整理整頓を実施し、その後全庁的に展開していきたい

● 市役所内、改善活動(5S活動)導入について

**問** 多くの市民が来庁する市民課などがモデルとなって5S活動を行ってはどうか。

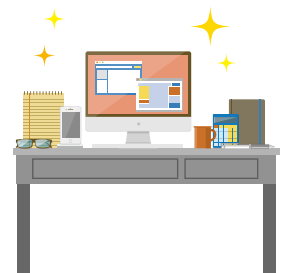
**答** 職場の環境美化、適正な文書管理の推進を所管する総務課が率先し、デスク周りをはじめ、執務スペースの整理整頓を実施し、その後全庁的に展開したいと考えている。

**問** 5S活動を行う事を銘打って、効率の良い職場を市民にアピールしてはどうか。

**答** 5S活動は、快適な職場環境の実現、能率の向上、その他の業務改善のきっかけとなる重要な活動であると考え、紹介のあった先進市や民間企業などの事例を参考とし前向きに進めたい。



加藤 治司



5S活動とは、職場環境の改善、人材育成などを目的に、整理・整頓・清掃・清潔・しつけに取り組むこと。



馬場 衛

## 通学路における歩道の整備状況と安全確認は

▶▶▶ 年度当初に危険箇所などを集約し、関係機関が再点検し、改善を図っている

● 安全・安心なまちづくりについて

**問** 通学路における歩道の整備状況と安全確認は。

**答** 年度当初に、各小中学校へ「通学路の安全点検」を指示し、報告された歩道の整備状況を含めた危険箇所・要注意箇所を集約。警察などの関係機関が再点検し、ガードレールの増設や白線の引き直し、グリーンベルトの設置など、順次改善を図っている。

**問** 豚コレラの防疫体制と市の取り組みの状況は。

**答** 養豚業関連業者の車両消毒設備の設置や、養豚場に電気柵を設置するための補助金措置など静岡県と緊密に連携して対策をしてきた。また、野生イノシシ対策として、猟友会による防疫捕獲強化や、ウイルス感染確認のための血液採取を実施した。今後は、経口ワクチンの散布や、養豚場へのワイヤーメッシュ柵の設置補助の実施などの対策をしていく。





佐原 佳美

## 「産後ケア」事業を湖西病院でも実施できないか

▶▶▶ 現在の体制では厳しい状況である

- 新規 産婦健康診査・産後ケア事業について

**問** 「産後ケア」事業を産婦人科医や助産師のいる湖西病院でも実施できないか。

**答** 事業の中心となる助産師は、保健師として健診センターの中心的な役割を担っている。また、10年以上助産師としての業務を行っていないため、現在の業務と兼務して従事することは厳しい状況である。



その他の質問 ● がん患者等への外見ケア支援について

- 「通園・通学路安全対策の緊急要望」について

**問** 通園・通学時、園外・校外活動中の安全確保対策や、交差点の安全総点検の実施はされたか。

**答** 幼・保・こども園は、合同安全点検を順次実施しており、園・警察・道路管理者・行政などの関係機関が、危険箇所の現場確認や意見交換を実施している。小・中学校は、年度当初に各校で通学路の安全点検を実施し、危険箇所などの対応を関係機関にて協議し、優先度の高い順に対策に取り組んでいる。

## 空き家のリフォーム費用を市が支援する考えは

▶▶▶ 10月から実施する「住もっかこさい定住促進奨励金」に優遇措置を設ける

- 空き家対策と活用について

**問** 空き家をリフォームして使用できるよう、市として支援をしていく考えは。

**答** 空き家活用のためにリフォーム費用の一部を助成することは、有効な施策の一つと考える。移住定住対策として、10月から実施する「住もっかこさい定住促進奨励金」事業において、空き家バンク登録物件購入時に補助率を上乗せする優遇措置を設ける。さらに空き家などの活用策があれば改善を図っていきたい。

**問** 空き家バンクの登録と活用はどのようにしているか。

**答** 平成28年度の登録制度開始から3年間で、提供希望者から18件、利用希望者から30件の問い合わせがあったが、登録に至った物件はない。空き家バンクに未登録でも、市内には空き家を活用したレストランや、農泊体験などの事例もあり、市も側面支援を行っている。



滝本 幸夫



## 成年後見制度について障害者への情報提供方法は

▶▶▶ 窓口などで説明を行っているが、今後は広報紙やウェブサイトなどを活用し、更なる周知に努めたい

- 障害福祉施策について

**問** 成年後見制度の障害者への情報提供をどのように行っているか。

**答** リフレットの配架、市の担当窓口や相談支援事業所において必要と思われる方へ説明は行っている。今後は広報紙やウェブサイトなどを活用し、更なる周知に努めていきたい。



神谷 里枝



- 財源確保に向けた人材育成について

**問** 対話型自治体経営シミュレーションゲームを取り入れた人材育成を行う考えは。

**答** 職員一人ひとりが財源確保の厳しさや財源捻出の難しさについて自ら感じ、意識を共有する手法の一つとして、経営シミュレーションゲームを活用した研修会などを実施し、人材育成につなげていきたい。



荻野 利明

## 加齢性難聴者への補聴器購入の助成を

▶▶▶ほとんどの市町が未実施のため、他市の動向を注視したい

● 加齢性難聴者の聞こえを守り、社会参画を促す対応を

● 学校給食の無償化または負担軽減について

**問** 加齢性難聴者への補聴器購入の助成ができないか。

**問** 市長の選挙公約でもある小・中学校の給食費補助について、市の考えは。

**答** 加齢による難聴の高齢者は多く、難聴は社会的・家庭的孤立、引きこもりなどにもつながることから、市では生きがいづくりや社会参画などの場所を提供している。補聴器の助成は、ほとんどの市町で実施していないことから、他市の動向を注視したい。

**答** 財政上の課題もあるが、何が子育て世代の支援や定住促進の支援などに有効なのかを検討し、優先順位を考え、保護者や関係機関と話し合いながら、前向きに考えていきたい。

その他の質問 ● 保育園給食費の負担の取り扱いについて



## 市民の不安を払拭していくための対応は

▶▶▶ダイオキシンの調査を継続し、その結果を地域住民へ情報提供していく

● 大気保全体制の強化に向けて



吉田 建二

**問** 市民の不安を払拭していくための対応は。また、自治会連合会で受理している誓約書を協定書に変更していく考えは。

**問** 大気保全体制の充実強化に向けて、今後の対応は。

**答** 空気や水を保全するために、ダイオキシン類の調査を継続し、その結果を地元自治会をはじめとする地域住民へ情報提供していく。また、湖西の環境を守る会との意見交換を密にすることが必要と考えている。自治会連合会で受理している誓約書は、今後、協定書に変更していきたいという要望があれば、市が仲介したいと考えている。

**答** 大気状況のモニタリングを続け、静岡県、豊橋市及び湖西市による「ダイオキシン類の測定結果を協議する会議」においての意見交換の継続と施設内の立ち入り検査の同行、地域住民や事業者とも定期的な意見交換を行い、何かあれば行政権のある豊橋市に申し入れていくことが重要と考えている。



中村 博行

## 湖西病院を地域包括ケアの核とする考えは

▶▶▶市民が安心して受診可能な地域医療の核と位置づけ、充実を図ることが重要と考える

● 地域医療体制の充実について考えを伺う

**問** 市立湖西病院を地域包括ケアの核として充実させるべきと考えるが、市の考えは。

強化や、市の訪問看護ステーションを湖西病院へ移転する準備を進めている。

**答** 湖西病院は市民が安心して受診できる地域医療の核と位置づけ、在宅療養者の急変時の受け入れや、在宅医療・介護の支援をし、在宅で安心して暮らせるような環境づくりに努めていきたい。具体的には、今年6月に設けた地域包括ケア病床を今後拡大し、市と病院との連携

**問** 市民に対する医療機関・福祉に関する情報の見える化をどのように考えているか。

**答** 現在、ウェブサイト、広報紙、ガイドブックなどを通して常に最新情報を提供するよう心掛けている。今後、多様な情報発信の手段を研究し、市民に分かりやすい情報提供ができるよう努めていきたい。





三上 元



## 次の副市長を民間から抜擢する考えは

▶▶▶ 副市長という枠にとらわれず、必要な部署、必要な職責に応じた登用をしていきたい

### ● 次の副市長を民間から抜擢する考えは

**問** 次の副市長を民間から抜擢する考えは。

**答** 変化していく行政需要や政策課題に対して、迅速かつ柔軟に対応できるかが組織として必要である。現在、病院事業管理者や経営戦略監など民間経験のあ

る専門知識を持った人材を登用している。また、昨年度からは、職員採用試験において、キャリア採用枠を設けて、様々な専門的知見をもった人材を採用できるようにした。民間経験のメリットを活かした人材について、副市長という枠にとらわれず、必要な部署、必要な職責に応じて登用をしていきたい。

## 議会って何するところ？

8月20日(火)夏休み中の子どもたちが、議会について学びに来てくれました。当日は、議場でモニターを使いながら、議会のしくみについて説明。説明後は、議長席に座ったり、その様子をカメラで撮影するなどの体験をしていただきました。



### <子どもたちからいただいた感想>

- 今日初めて議場に入ったので席がたくさんあってビックリ!
- 「議員」という言葉は、テレビなどでよく聞くけど、どういう立場の人なのかよく分からなかったから、知れてよかった。

## 議員勉強会を開催しました。

7月23日(火)に福祉教育委員会主催による勉強会を開催しました。

湖西市の重要課題である市立湖西病院の経営状況について、病院が改善に向けてこれから取り組むべきことを、全議員で調査研究しました。



# 市議会からのお知らせ

## 12月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/17	18	19	20	21	22 10:00~ 本会議第1日	23
24	25	26	27	28	29	30
12/1	2 10:00~ 本会議第2日 (一般質問)	3 10:00~ 本会議第3日 (一般質問)	4 10:00~ 本会議第4日 (一般質問)	5	6	7
8	9	10	11 10:00~ 本会議第5日	12 10:00~ 総務経済 委員会	13 10:00~ 福祉教育 委員会	14
15	16 10:00~ 建設環境 委員会	17	18 10:00~ 本会議第6日	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

予定が変わることもありますので、議会事務局へお問い合わせください。

## 議会だよりを スマホでも!

「マチイロ」を使えば、「こさい議会だより」をスマートフォンで読むことができます。



### 利用方法 (※別途通信料が掛かります。)

- 1 右のコードからアクセス
- 2 「マチイロ」をダウンロード
- 3 個人設定→お住まいの地域を「湖西市」に設定



## 政務活動費の 報告について

湖西市議会政務活動費に関する書類を、つぎのとおり閲覧することができます。

閲覧日時 午前8時30分から午後5時15分まで(土日、祝日、年末年始を除く)

場 所 湖西市議会事務局 (市役所3階)

対 象 収支報告書などの写しや主要な調査研究活動の内容を記載した書類など

※議員ごとの収支報告の概要は、市ウェブサイトへ掲載しています。

## ………議会傍聴に来ませんか?………

注目

- どなたでも傍聴できます。
- 当日、市役所3階議会事務局へお越しください。
- 予定が変わることもあります。事前に議会事務局 (TEL.053-576-4791) へお気軽にお問い合わせください。

傍聴にこられない方も市議会の様子をご覧ください。

### ▶ 浜松ケーブルテレビ チャンネル・ウィンディ

本会議の一般質問が、浜松ケーブルテレビ「チャンネル・ウィンディ」で放映されます。

### ▶ 湖西市ウェブサイト インターネット放送

本会議のインターネット放送(生中継・録画)を市のウェブサイトからご覧になれます。



## 編集後記

編集にあたり、「作成する側」の思いと「読んで内容を理解する側」の狭間に立ち、自分であればどう感じるだろうか、感性を刺激する、印象に残る読み物になっているだろうかと思うことが多々ありました。

今までの歩みの中で人に読んでいただける物に携わったことの無い者にとっては、人に伝える編集の重要性を感じながら、仲間たちとの真剣な意見交換も味わえた貴重な時間でした。

今後とも「議会だより」をよろしく願いいたします。

(滝本 幸夫)

## 編集委員

(◎は委員長、○は副委員長)

- ◎加藤 弘己 ○吉田 建二
- 柴田 一雄 加藤 治司
- 滝本 幸夫 福永 桂子
- 竹内 祐子 荻野 利明

次回は

→1月31日 発行予定です

